

日中友好協会 八王子支部ニュース



みんなで参加・多彩な活動! 広げよう・大きな“わ”! 佐藤副支部長: FAX:042-645-8415

2022. 8.28 日中友好協会八王子支部

第18回総会 & 創立17年記念八王子フェスタ

八王子支部第18回総会は、アマダステーション2階で、3年ぶりに対面で開催されました。

議長に加藤千音さんを選出し、はじめに来賓の都連副理事長・佐久間徹さんが挨拶のなかで、「今、日中の間にはコロナと嫌中という困難がある。日本人の91%が中国を嫌いというが、嫌いなのは中国政府のやり方で、66.4%の人が日中関係は重要と思っている。そこに日中友好の基礎がある」と日中の未来を展望した話をされました。



多摩支部からも天広さんが出席くださり、12月の中国百科検定への参加を呼びかけられました。続いて議事に入り



第17期が引き続きコロナのなか、春節や観桜会は中止になりましたが、映画会や聊聊天会等毎月の行事を積極的に進めていったこと、第18期も不再戦・平和の旗を掲げつつ、地域の民主団体との交流も深めながら、様々な学習・文化活動に取り組んでいく活動方針を採択しました。

新たに鈴木哲也さんを理事に迎え、奥田支部長を先頭に、12名の役員・理事で今期も頑張っていく所存です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

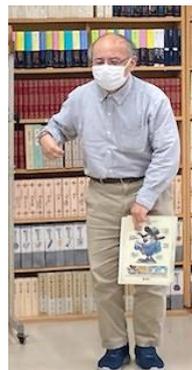
創立17年記念八王子フェスタは、日中八王子支部の中国語・二胡・太極拳等各教室の

学習発表会です。初めての試みでしたが、各教室のみなさん、張り切って準備をして、それぞれの力量を発揮し、楽しい催しとなりました。

締めは、草原を駆け抜けるような馬頭琴&ホーミーの演奏・独唱でした。



中国語入門講座 歌「茉莉花」と漢詩朗読



中国語中級講座
中国物知りゲーム



二胡教室 五曲演奏 左端は松澤正人講師



太極拳教室 「太極拳24式」と「太極拳 剣32式」



中国語初級講座 歌「大海 阿 故乡」他
左端は、中国語講座の山佳小玲老師



「731部隊」覚え書き①

五井 信治

「731 部隊展」をアマダステーションで毎年やっている関係で、これから、しばらくの間、731 部隊について書くことになりました。日中友好協会八王子支部の方々は「731 部隊展」に積極的に協力してくれましたので、私も会員になりました。私は、731 部隊の研究者ではなく、ただ関心があってやっているのです。

731 部隊について書く前に、なぜ私が、この事に関心をもったかについて書きたいと思います。私は、以前小学校の教師をしていた時期があり、その時に、仏教とはどんなものか知りたくて、福井県の永平寺や横浜の総持寺を見学したり、四国のお遍路さんの真似事をして、四国を回ったり したことがありました。

1980 年代は、NHK でシルクロードの放映がなされていたりして、その様な曲も流行っていました。空海(真言宗の開祖)や最澄(天台宗の開祖)が、中国(当時は唐)へ留学したりしていたので、中国に関心を持ち、1985 年初めての海外旅行の行先が、中国だったのです。空海が滞在したという、西安などにも行き、大雁塔などを見学し、また仏教遺跡のシルクロードの敦煌にも行きました。その昔、日本は中国から思想や文化を多く学んでいたことを直接肌で知りました。その時は、日中戦争のことなどほとんど頭にありませんでした。

その時の旅行で印象に残っているのは、北京に着いたホテルで、日航機の墜落事故のニュースを

聞いてびっくりしたことです。中国で、日本のニュースを聞いたので、本当に驚きました。520 人が死亡した事故は世界を駆け巡っていました。

また旅行先のホテルで同室だった老人が、なぜ中国へ来ているのか不思議でした。あまり話をする事はなかったのですが、後で考えますと、日中戦争の記憶を辿っているのではないかと思いました。こんなわけで、初めての中国旅行は、新鮮で、異文化に触れたことに少し興奮していました。

その後、ニュース等で流れる、中国残留孤児の問題や、テレビ番組『大地の子』などを通して、日中戦争のことを考えるようになり、また 90 年代に八王子労政会館で開かれた「731 部隊展」などを見て衝撃を受けました。それから、徐々に日本は主に中国で何をやってきたのかに関心を持つようになりました。また最近では、中国が核実験(原爆・水爆等)の実験をやっていたのがウイグル人の住む地域であることを知り、そこには多くの被爆者がいることがわかりました。80 年代あこがれて行った中国シルクロード、敦煌の近くで核実験がされていたのです。



二〇一八年「七三二部隊展」
アマダステーション



二〇一九年「七三二部隊展」
労政会館



二〇一九年「毒ガス・遺棄毒ガス展」
アマダステーション



二〇二〇年「戦前・戦後の医学」
七三二部隊展①「アマダステーション」



二〇二〇年「戦前・戦後の医学」
七三二部隊展②「アマダステーション」

曹操と曹洪



曹操軍は、一万の兵で董卓を追撃した。董卓は、李儒に諮って曹操迎撃の策を練った。曹操軍は滎陽クイヨウ城に迫り、一気に陥落させた。しかし、滎陽城はもぬけの殻であり、曹操は、董卓はまだ遠くに行っていないはずと、深追いすることとなる。李儒の術中にはまっているとも知らずに。

曹操軍は、伏兵に迎撃され、軍は陣形が整わないうちに散り散りとなって多くの将兵が倒れた。曹操自身も深手を負い逃げ延びたものの、供をするのは従兄弟の曹洪のみであった。曹洪とともに手負いでありつつも川を渡り何とか対岸までたどり着いたものの、追っ手の徐栄軍の陣地に入ってしまった。

曹操・曹洪ともに徐栄軍に捕らえられ、処罰されることを覚悟したものの、ここで曹操の曹仁と楽進の救援が駆け付け何とか九死に一生を得ることができたのである。

曹操軍は、わずかに数百の兵を残すだけであつた。曹操は、ここで手痛い敗戦を経験することになるのである。

曹操が敗れた戦いとしては、赤壁の戦いや劉備との漢中攻略戦が有名であるが、この董卓との敗戦はその後の曹操の大いなる飛躍のために何かしらの教訓を曹操に与えたのかもしれない。

山越石鬼さんの
世相を映す替え歌⑱

「自民党と統一協会の癒着を解明せよ！」
～「クラリネットをこわしちゃった」



♪アベの大好きな統一協会
表裏一体の勝共連合
とっても大事にしていた
選挙で応援もらっていた
ひどいよ ひどいよ
靈感奇法
法外献金
カルト集団だ
自民党との癒着を
解明せよ！

♪アベの大好きな統一協会
祖父から引き継ぐ癒着の関係
名称変更申請を
一転認めたアベ政権
ひどいよ ひどいよ
理由は黒塗り
ミスは頬かむり
政治の関与を
究明せよ！

♪「何が問題なのか僕にはわかりません」と
「いろいろお付き合いがあるからしかたがない」と
とっても耳を疑う
開き直りと言いつけが
ひどいよ ひどいよ
多くの被害者
生まれているのに
知らぬ存ぜぬは
許されない ホント！

9月には日中国交正常化50周年

日中両国が国交正常化して9月29日で50年
半世紀前、中国は『戦後賠償の放棄』、日本は『中国の経済成長を支援』。今、両国の経済発展は逆転し、
『軍事大国』へ、両国関係は様変わりしている。

8月10日、28年ぶりに

台湾問題について中国政府の見解

「平和統一」が最良の方法と強調しつつ、武力統一の可能性も改めて言及。「祖国統一」を選択する中国共産党と人民の確固たる意志と強い決意を示す。

8月17日、天津で秋葉国家安全局長と

今後の日中関係について、「重層的な意志疎通の重要性」を確認。「平和共存と友好協力が両国関係の

唯一の正しい選択」「意志の相違を適切にコントロール」(対話の継続に意欲、日本も対話のチャンネルを維持する姿勢)。

秋の共産党大会……三期目を見据える習近平

政治報告(党大会で読み上げられる)は、起草グループの主導(習近平)により進められている。
『社会主義現代化強国』への長期展望が示される。(政治体制の優位性を社会の格差是正につなげる)

…現在、「ゼロコロナ政策」により、国内経済回復は遅れている。
…如何に中国政府が安定へ立ち直っていくか、手腕の見せどころです！

(佐藤 一義)



中国映画を見る会

好評につき再上映

宋家の三姉妹

2022年9月25日(日)

13:30~16:00

アマダステーション1階

資料代:500円



軍拡より 攻められない 外交を!

だれも 憲法変えるの 望んでない!

今こそ 9条を世界に!

敵基地攻撃 (反撃能力)は 戦争をしかけること!

核兵器禁止条約に 日本も参加しよう!

国葬反対!

第86回 **NO WAR! 八王子アクション**

9月18日(日)

10時30分~11時30分 JR八王子駅 北口 集会

私の本棚 松澤正人

○投稿お待ちしております。

○寄稿いただく場合の送り先: 松澤 正人

e-mail: erhudeniko@gmail.com FAX: 042 (664) 1642

「戦争中毒 アメリカが軍国主義を抜け出せない本当の理由」

前々回紹介した長崎大学の戸田清教授の、「なぜ戦争をするのか」という本の中で「戦争の原因を考える平和教育のための25点」として列挙された本のなかの1冊。

オリジナルは1993年に米国で出版された。その後2001年に9.11の事件が起き、この事件を書き加えたものをきくちゆみさんが、日本語版が出来上がった。それがこれ。なかは漫画に説明がついた形なので、わかりやすい。改めてアメリカが戦争ばかりやっている国ということがわかる。

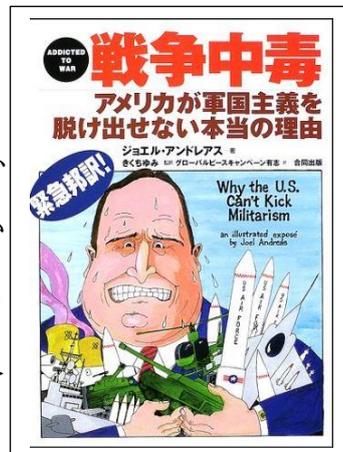
そもそも建国(独立)時点の13州が、領土拡大のために西へと進む。進むというのはそこに住んでいた先住民を追い払って、西海岸へ到達した。また南は、メキシコを侵略して南部の領土を獲得した。そして主に南部の開拓のためにアフリカの人たちを連れてきて奴隷とした。これがアメリカの人種差別の発端。当時から差別の対象は黒人だけでなく、メキシコ系の人々をヒスパニックとして蔑んだ。

太平洋を越えては、まずフィリピンを傘下に入れ、日本には江戸末期に黒船としてやってきて、太平洋戦争勝利により実質支配下に置いた。以後、米国は朝鮮戦争、パレスチナ侵攻、ベトナム戦争、イラク侵攻、アフガニスタン侵攻と戦争ばかりやっている。アフガン侵攻のきっかけとなった世界貿易センタービルの飛行機テロは、今では知る人ぞ知るところとなった一種の「やらせ」であった。オサマ・ビン・ラディンの計画は事前に察知されていて、計画通り実行させることで「テロとの戦い」を名目に戦火拡大をしていった。貿易センタービルの崩れ方は、爆薬が仕掛けられており、飛行機衝突後に爆破されたと言われている。それを立証するような動画は削除されて今では検索しても出てこないが、直近の動画でロシアのミサイルの砲撃を受けたウクライナの建物がそれで根元から全体が崩れ落ちることはないのを見てもあのビルの崩れ方は飛行機だけのものでないことが分かる。

こうした一連の戦争行為は、何のためにやっているのか。アメリカが世界の警察という名目で、世界に派兵するが、実は戦争産業がもうけている。どんな会社が戦争産業かもこの本に列挙されている。戦争に駆り出された兵士たちも犠牲者であり、帰国後は反戦活動を行う。今回のロシアのウクライナ侵攻に際して、米国は派兵こそしていないが様々な兵器の提供を行っている。これでもまた戦争産業が利益を得る。

日本も、憲法9条のおかげで直接の戦闘に加わることは今までは無かったが、燃料補給として戦地に赴いた自衛隊員の帰国後の実情がメディアで報道されない。昨今の憲法無視や勝手な解釈による、ロシアや中国、北朝鮮を仮想敵国とした軍備の増強は、日米の戦争産業を税金を使って儲けさせる。

戦争で儲ける企業が、戦争をさせる政府に政治献金する。この流れを断ち切らないと、日本も本当に戦争に巻き込まれることになる。今回はこの本を出したきくちゆみさんご自身の本を紹介したいと思います。



《日中友好協会八王子支部日程》

9月25日(日) 10:00~理事会

13:30~映画会「宋家の三姉妹」

10月23日(日) 10:00~理事会

13:30~聊聊天会「芥川龍之介と中国旅行」

11月27日(日) 10:00~理事会

13:30~切り絵教室「干支の兎を切る」

12月20日(火)~26日(月)

「731・原爆・ビキニ展」

中央図書館地下展示室

日中友好新聞は、東北アジアの平和に役立つ確かな情報と中国の文化・歴史の豊かな情報を持つ、月2回発行のタブロイド判8Pの新聞です。嫌・反中報道が溢れる中、公正・中立な報道をしています。ぜひご購入下さい。

1ヶ月550円(送料込み) 購読申込 042-645-8411:佐藤